

令和6年度 第2回 学校経営協議会 議事録

令和6年5月22日 17:30~18:45

1 会長あいさつ

皆さんから出していただいた意見をまとめて検討していきたいと思います。よろしくお願いします。

2 学校評価について

「令和6年度小平市立小平第四小学校学校評価計画表」赤字は昨年度との変更点。具体的方策については協議会で検討していく。

○学力向上…・東京ベーシックドリルを行っていく。今年度は学期末のみ実施に変更。

・教科担任制の推進を行っていく。5, 6年で実施し、理科・社会の担任同士の交換など他の学年も無理のない範囲で実施。同じ授業を複数の学級でできることで、内容や指導力の向上が見込めることがや、学年全体の児童の実態を担任が見られるなど、効果的な側面が大きい。

○健全育成…「四小スタンダード」や「いじめ見逃し0」など昨年度と同様に推進していく。

○健康の保持増進・体力向上…年間を通して中休みに体を動かす活動を行うスポーツタイムを実施して体力の向上を図っていく。

○地域連携教育の推進…地域教育コーディネーターと連携し、ゲストティーチャーや地域教育ボランティアを呼んだり、ナラミースタッフや学童農園と校外での学習をしたりしていく。

前後期の年2回 学校関係者評価のご協力をお願いします。

(質疑応答)

・教科担任制は中学校のような完全な教科担任制というわけではないのか。極度に教科担任制が進むと子どもと担任の関係が希薄になってしまうのではないか。

⇒対象は5, 6年で、その他には3, 4年生が無理のない範囲で行っている。学年間での授業の交換であり、中学校のような教科担任制ではない。その他の授業や学校生活においては、基本的に学級ごとに担任が指導をしている。

・どの教科で教科担任制を実施しているのか

⇒実施学年で話し合い、それぞれの教師の専門・得意分野の教科を受け持って交換をしている。

家庭科、理科、社会、体育などで実施をしていて、学年を超えての教科の交換は実施していない。

・低学年でも違う先生が授業を受け持つことで、子どもも違う感覚を身に付けられるという側面や評価の場面でも児童にとって効果的な側面もあるのではないか。

⇒複数の担任が児童の様子を見ることで子どもの実態をよく見ることができたり、子どもも大人と

の関わりを増やすことができたりするなど効果的な側面もある。今後よりよくなるよう検討していきたい。

- ・中学校の先生との交換担任制の話も以前あったが、その後の進捗はどうか。

⇒小中連携事業の構想にはあって話し合いも行っているが、懸念点も多く実現できていない。今後の課題ではあるので引き続き小平第四中学校と連携して話し合っていきたい。小平市内の大規模校では、中学校の先生が小学校の体育の授業を教えているという事例がある。

3 学校の現状報告

(校長)・5月の大型連休後、今年度は生活リズムが崩れてしまうという事例も少なく、体調不良者や欠席者が少なかった。順調に学校生活を再スタートさせることができた。

- ・6年生が5月15日から17日まで日光・尾瀬移動教室へ行ってきた。天候にも恵まれ、無事に3日間を終えることができ、こげら学級やならのみ学級の子どもたちも一緒に行程で参加することができた。
- ・校内研究の一環としてならのみの児童理解を深めるために、5月20日にならのみ学級が「ならのみフェスティバル先生バージョン」を開催した。次回7月に授業UDの視点を用いた授業研究と講師の先生を交えての協議会が行われる予定である。
- ・健康診断も滞りなく進んでいて、ナラミースタッフとの打ち合わせも終了し、交流事業も始まる予定である。

(副校長)・業務改善について、月の残業時間60時間について、教員の意識が高まり、ほぼ守られている。

- ・6月の7(金)、8(土)日に学校公開がある。実際の児童の様子を見ていただければと思う。7日は集団下校も実施予定で、8日は小平市の特別活動推進事業として各クラスの学級活動の公開もある。PTA関係の方々には公開の受付などにもお力添えをいただくこともあるかと思う。よろしくお願ひします。
- ・月ごとの生活目標では、各月の中盤で一度振り返りを行っている。その効果もあり、課題を反省して月の後半も頑張ることのできる学年学級が増えている。
- ・5月の保健だよりでは、熱中症について注意喚起などが記載されている。
- ・体育館の空調機器の工事が完了し、使えるようになった。大事に有効活用していきたい。

(質疑応答)

- ・体育館の空調機器のスイッチはどこにあるか。

⇒舞台向かって左側の舞台袖にある。表示を作成する予定。

- ・学校の水道が自動水栓になるという話があったが、その後進展等はどうか。

⇒教職員から自動水栓だと水を飲んだり、バケツなどに水を溜めたりするのに不便だという理由から、すべての流しを自動水栓に変更することについては反対意見が多くかった。トイレはすべて自動水栓に変更予定であるが、流しの蛇口と自動水洗の比率については検討を重ねていく。工事期間中、みな

さまにご不便をおかけするが、ご了承いただきたい。

4 令和6年度のCS予算について

- ・令和6年度のCS予算の執行について通知が出た。予算内で有効活用していきたい。要望などを聞き、四小として交渉など進めていく予定である。
- ・東京都教育委員会より、CSアドバイザー派遣事業開始に関する通知があった。CS活動活性化のため、CSに関する知識・情報・実績が豊富な東京都CSアドバイザーを呼ぶことができ、支援や助言を行ってくれるそうなので検討いただきたい。

5 プロジェクト立ち上げに向けて

各活動報告をしてもらい、その後の活動を検討していく。

○青少対

四小では防災クエスト、青少対まつり、餅つき等の活動を実施している。今の子どもが体験できないものをやらせてあげたいという思いで活動している。

○ナラミースタッフ

授業時間帯で、各学年と一緒に活動している。玉川上水の郷土史、環境、動植物に関する授業などを行っている。昨年度、授業支援では累計178名が関わった。時数では66.8校時実施した。授業の準備にも累計103人で約63時間行った。主に授業前や放課後に準備をしている。

四小寺子屋を学芸大学の学生とともに月3~5回程度実施している。地域の方に向けてパソコン教室を年間13回計画していて、1学期では5回Windowsからロボットのプログラミングまで幅広く活動している。放課後プログラムの一環として来年度以降も続けていければと思う。

○放課後子ども教室

ミニバス、よさこい、シング・ア・ソング、など年間通じて活発に活動中。予算も多く、各団体に割り振っている。実行委員会が各月にあり、報告発表をしている。

○PTA

4月18日に昨年度の任期が終わり、新年度がスタートした。PTAを2年続けると、以降の就任を免除にする制度を今年度から実施した。半分ほどが昨年度からの継続となり、何をやつたらいいか分からぬという状態が今年度は起こっていない。広報はキャンバというツールを使って工夫している。保護者への負担軽減と、どのような活動をしているのか検討していきたい。スクールゾーンについて、7月20日前後に交通量を警察とともに測る取り組みを地区委員が進めている。

○ぶらっときっず

PTAの同好会として活動している。学期に1回、SCとの話し合いと情報交換をナラミールームで行っている。小平全域の保護者で行っていて、SNS等も利用して情報交換を行っている。予算はPTAから年3000円が出ている。情報誌、パンフレットを発行している。

○自治会

学園西町会では、下校児童の見守りや自転車安全教室のサポートを行っていて、青少対祭りや防災クエストにも町会として参加している。15小の学区にも属しているため、今年度から15小学区も見守りを実施している。ほたるの鑑賞会を実施していて、昨年は300人ほどが参加した。また、フットボール体験会を一橋大学と協力して実施したり、公民館でうどんづくりを実施したり

する予定。

6 熟議テーマ

以前、各学校で緊急初動要員訓練が行われた。しかし、防災用品の位置内容確認、避難訓練の確認を行ったものの、すごく簡単なものだったので、昨年度からもっと具体的に行わなければならないという意見があった。仮設トイレの設置の仕方についても行いたい。四小としてどのようなことを行っていくのかについて、皆さんの意見を聞かせていただければと思う。保護者だけでなく児童も参加したり、防災クエストを交えたりしたらどうか。実際に役に立つことを考えてやりたい。

昨年度のテーマは【遊び】

昨年度の熟議のテーマは良かった。先生たち個人のことを知るいい機会となった。先生たちから誘ってもらった昼食会も交流が深まりとてもよかったです。

テーマ【防災】に決定

- ・ゲーム感覚で防災について学べる体験活動をしたらどうか。

HUGセット…避難所運営の仮想ゲーム 意見を出し合って話し合うゲーム。2時間内に終わるか確認が必要。

⇒やるのであれば7月の学校経営協議会にHUGの体験会をしてみてはどうか。立場によっていろいろな困難さをもつことを知ることのできるいい機会になると思う。また、地域の防災について取り組みをしている方の話を聞いてみるのもいいかもしれない。

- ・学校の授業中に災害が起きた場合、どのように対処するのか確認と話し合いをしたらどうか。避難場所などの設置についてどのように先生たちやCSが関わるのか確認したい。
- ・親目線で災害が起きたときの視点を先生に伝えるなど、情報交換の場にしたらどうか。

⇒CSメンバーが熟議のファシリテーターとなるので、全体でどのような方向性にするのかもっと練る必要がある。HUGを熟議で行う場合、次回、7月の協議会でHUGゲームをCSメンバーで試験的にやってみたい。

○プロジェクトについて

- ・全体としてだれが運営していくのかということも考えながら話ししていく必要がある。個人個人がやると負担にもなり、運営が続けることが難しくなってしまう。
 - ・プロジェクトではなく、各会の報告会にしてはどうか。
 - ・昨年度の実施例がないため、プロジェクトについて見通しがもてない。何をすべきか統一理解が必要である。
 - ・以前、緑化の活動として四小の樹を植え替えるなどの活動をしていた。
 - ・事務局でも整理をしてみて、自分たちでできることや他のところに頼めるものも出てきた。どのような活動をしていて、これからしていけばいいか見えるようにしていきたい。ご協力をお願いしたい。
- ⇒プロジェクトの在り方については次回以降により具体的に検討していく。

7 その他

- ・特別活動の取り組みについて詳しく聞きたい。

一小平特別活動の日として、全校が同日に公開授業を行う。学級活動として各クラス、学級会を実施する予定で6月8日土曜日の1～3時間目の中で1時間行う。

午後は、代表委員2名が「こだいら特活の日サミット」に参加する。市内の27校54名で、「自分も他人も大切にする学校をつくるためにはどうしたらいいか」をテーマに話し合う。

これを足掛かりに学級活動をさらに活発にしていこうという予定である。

※次回は 7月10日 17:30より